

管理所レビュー VOL.13

(R1.10.18 水源林管理所)

今年度の第14回となるボランティア活動が、10月5日(土)に予定どおり実施されました。

10月に入り、朝晩の気温がだいぶ下がってきましたが、活動当日の日中は強い日差しが照り付け、汗ばむような天気の中での作業となりました。皆様、大変お疲れ様でした。

各地に甚大な被害をもたらした台風19号は、道志村内にも土砂崩落などの被害をもたらしました。今のところボランティア作業地に異常はありませんが、作業に入った時点で林内の異常に気が付きましたら、管理所職員に報告をお願いします。

それでは、安全活動のための水源林管理所の振り返りなどをお知らせします。

1 66名のご参加、ありがとうございました！



絶好の天気となりました。



終わりの会では、ヒヤリハットの確認も！



お疲れ様でした！持っていった道具は揃っていますか？

2 当日の作業の様子。



伐倒方向をみんなで検討



ロープを引く時は伐倒木に注目！



隣接作業時は、気を付けて！

3 ご参加、ありがとうございました！

今回の活動に、環境保全活動に積極的に取り組んでいる管工事協同組合様、株式会社ヨロズ様が参加されました。

横浜の水源である道志村の民有林をより良い水源林とするためのこの活動が、様々な方面の方の参加により、ますます広がることを期待します。

ボランティアの会の皆さん、ご指導ありがとうございました。



管工事協同組合様。
(掲載許可済み)



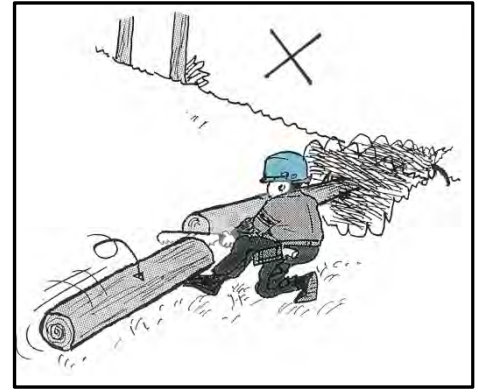
株式会社ヨロズ様。
(掲載許可済み)

4 玉切り作業時の注意点

①玉切り作業は、斜面上部で！

玉切り作業を行う時、斜面の下部で作業していると材が切離された瞬間に転がり、足の上にとったり、体に当たったりするため危険です。玉切り作業の際は、必ず斜面上部で行うとともに、足を材の下に入れないようにしてください。特に重量のある材の切離し時は、注意して作業してください。

また、切離した材が転がりそうな場合は、材の端をロープなどで固定してから、作業を始めてください。



②玉切り作業には、補助を！

玉切り作業を行なう時、ほとんどの場合でノコギリが挟まれてしまいます。特に中径木以上の立木は重量があるため、2人程度で補助をすることにより安全で楽に玉切ることができます。

また、材の状態によっては下からノコギリを入れた方が楽に切れる場合があります。材の状態をよく観察して、安全で楽に処理できる方法で対応してください。



複数の人の補助で、安全に作業しましょう！



材の状態によっては、下から切る選択も！

5 インストラクター林業実技実習・・・下刈り、枝打ち編

前回の間伐実習に引き続き、「道志の森インストラクター」への昇格候補者2名の林業実技実習として、下刈りと枝打ち作業が実施されました。

事故等が無く、安全に活動するには、インストラクターの活躍が重要になります。これからも確実な知識と技術を身に付けたインストラクターが増えていくよう、水道局でも出来る限りのサポートをしていきますので、引き続きご協力よろしくお願いします。



下刈り作業の様子



枝打ち作業の様子



実習終了！現地指導員と。

※ 10月23日(水)は、曇り、最高気温22度、降水確率50%の予報となっています。

★それでは10月23日、気をつけてお越しください。